

1995(平成7)年10月24日～26日

東京国際見本市会場B・C館(晴海)

- 出展は361社まで伸び、とくに、介護用品、コミュニケーション機器、福祉車両が増し、来場者が10万人を超えた
- 福祉機器セミナーは、住宅改造、入浴・トイレ、ベッドの3つのテーマで、それぞれの機能や利用方法などを解説した。とくに、「住宅改造編」では、全社協が開設した研修施設中央福祉学院「ロフォス湘南」に導入した障害者への配慮や、バリアフリーのアイデアを事例として紹介
- 厚生省、通商産業省関連の研究機関の開発事業(助成)によって実用化された福祉機器が出展された
- 「H.C.R.ミュージックコンサート'95」。欧米と日本の4つの障害者の音楽グループ、(WIND FORCE(オランダ)、G.K.GROUP(デンマーク)、SILENT TOUCH(アメリカ)、GAOH BAND(日本・福岡))などによるコンサートを開催した



[第22回 ポスター]

主催 全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会  
 特別協賛 日本自転車振興会、全国生活協同組合連合会  
 来場者数 106,521人  
 出展社数 361社：海外10か国101社、国内260社



1995年 阪神・淡路大地震発生

- ▶ 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」改正、障害者プラン策定
- ▶ 高齢社会対策基本法施行

## 特別企画

## H.C.R.ミュージックコンサート'95

障害者の音楽グループ、(WIND FORCE (オランダ)、G.K.GROUP (デンマーク)、SILENT TOUCH (アメリカ)、GAOH BAND (日本・福岡)) などによるコンサートを開催。ロック、ポピュラー、フォーク、和太鼓などをつうじて、ともに障害と向き合いながら生き生きと歌い奏でるメロディに、満場の観客からの拍手が寄せられた。

## 海外

## SILENT TOUCH (サイレントタッチ、アメリカ)

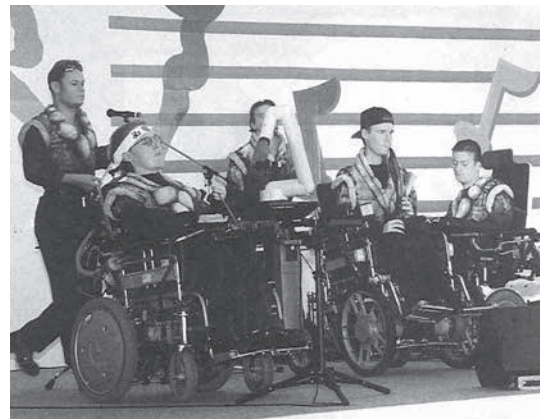
ゴスペルと同時代の音楽を伝える手話、サイン、アート、ダンス、振り付けをミックスして、ろうあ男女が演じるサイン・アートのアンサンブル。音声をこえて、「こころ」に勇気を与え、挑戦し、鼓吹する視覚体験

## WIND FORCE (ウィンドフォース、オランダ)

エレクトロニック・サクソフォン、シンセサイザー、エレクトロニック・パーカッションなどのハイテク楽器を使う、テクノロックグループ。広く海外でも活躍し、電動車いすやロボット・アームを使った「ショー」も披露

## G.K.GROUP (ジー・ケー・グループ、デンマーク)

10代の障害のある男女6人の生徒たちで構成され、学校の夏季終業式やクリスマスコンサートで活躍。ロック、ポップ、ジャズなど演奏するジャンルは広く、さわやかな歌声が会場をつつみこむ



## 国内

## 富岳太鼓 (ふがくだいこ、静岡県)

社会福祉法人富岳会の和太鼓チーム。知的障害者の療育を目的にはじまり、広く海外へも活躍の手を広げている。名のとおり、演奏はすべて富士山に関わる勇壮な曲

## 福本 淳 (ふくもと きよし、大阪府)

全盲のシンガーソングライター。自作の曲を中心としたピアノ弾き語りで、学校や各種イベントで活躍中。障害者を対象とした音楽教室(歌、ピアノ、ドラムなど)や音楽好きの仲間とのボランティア活動も行っている

## GAOH BAND (がおぼんど、日本・福岡県)

進行性筋ジストロフィーとたたかいながら、音楽活動を続けるグループ。ビートルズのナンバーをはじめ、オリジナル曲をCDとして発売。障害のある人たちに夢と希望を持っていただこうと、得られた収益は、入院、在宅の障害者のために活用された

